

事業番号	044
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市民まつり開催委託事業						担当部	地域活性化営業部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	シティプロモーション課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	にぎわい創出係			
	総合計画 分野別計画	主目的	5 産業・交流			18 シティプロモーション		3 魅力あるイベント・まつりを開催します				
		副目的										
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	3	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市民の憩いの催事として、市民・行政・企業が一体となった運営・企画を行い、より多くの市民に親しんでもらえるまつりとする。										
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <p>・市民参加型の交流を目指し、参加する方も見る方も楽しく、また来たくなるようなまつりの実施委託。25年度は織田信長公小牧山城築城450年の記念事業の一つとして、「夢・チャレンジ 450th Anniversary」のサブテーマのもと開催。</p> <p>会場：小牧山、市民会館・市公民館、まなび創造館、モディイパーク、駅西広場(パレードは雨天のため中止)</p> <p>経費：市からの委託金、市内外の各事業所からの協賛金</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 ・市民まつり開催委託料 36,000千円</p> <p>全体の決算 46,252千円(内 委託金(直接経費) 36,000千円、協賛金等10,252千円)</p> <p>【現在の会場】</p> <p>「小牧山会場」：毎年異なるテーマを掲げ、慣習に捉われない斬新かつ柔軟な会場。</p> <p>※第33回「花と緑のワンダーランド～きっちゃんの大冒険～」、第34回「いざ！小牧山城」</p> <p>「市民会館会場」：学校の文化祭的なイメージの会場。</p> <p>※八雲コーナー、こまきフレンドパーク(子どもが遊べる場)、バレエ、琴、民謡等</p> <p>「駅前会場」：ダンスを中心とした新しい小牧を発見できるような会場。</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 ・市民まつり開催委託料 35,000千円</p>										
	受益者負担	無										

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額	
			直接経費	千円	35,000	35,000	36,000
費用	正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	5,260	5,260	5,260	5,260
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	40,260	40,260	41,260	40,260	
	対前年比	%		100.0	102.4	97.5	
財源	一般財源	千円	40,260	40,260	41,260	40,260	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	総行事数	行事	目標	150	150	170
実績				171	168	161	
業	開催会場数	箇所	目標	6	6	6	6
			実績	6	6	5	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			目標				
業	来場者数	人	目標	185,000	185,000	200,000	185,000
			実績	145,000	200,000	100,000	
績			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の事業の達成状況	25年度は、織田信長公小牧山城築城450年記念事業の一つとして、「夢・チャレンジ 450th Anniversary」のサブテーマのもと実施したが、2日目が雨天によりパレードが中止となるなど、行事数・開催会場数・来場者数ともに目標を達成することができなかった。	
	事業実施における課題	市民まつりも回を重ねるごとに規模が大きくなり、その結果会場が、市民会館、駅前、小牧山、パレードと分散化、また、参加者の固定化が起きている。今後はよりよいまつりとするために、会場の配置、参加団体のあり方などを検討する必要がある。また、屋外のイベントが数多くあるまつりであるため、完全な雨天対策は難しいが、小雨時の対応方法等を検討する。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	市民まつりは、目的として、市民相互の融和を深め、文化をはぐくみ、市民でつくるまちづくりを推進するため、「ふれあいの輪をひろげよう」のテーマのもとに市民総参加のまつりとして実施している。市民まつりは、単にまつりを開催するという側面だけでなく、地域、団体がともに準備し、作り上げることで、地域・団体同士の絆も深まり、まちづくりにもつながっていることから、廃止・休止はかなり影響が大きいと考える。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	26年度は前回の反省を踏まえ、小雨時に屋外のイベント等を実施できるよう、ステージに屋根を取り付ける等、雨天対策の方法を検討する。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	これまで企画運営部会の中で市民まつりのあり方等を検討してきたが、平成25年の小牧山城築城450年記念事業の成果を継承すべく、外部の委員も交えてイベント検討委員会を立ち上げ、イベントのあり方等を研究することを予定しているため。	
	27年度以降の改善案	イベント検討委員会での検討結果を踏まえて、今後市民まつりについても見直し等を行う必要がある。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 市として今後のイベントのあり方を検討するイベント検討委員会での検討結果を踏まえ、必要に応じて事業の見直しを行うこと。